

平成26年度 事業報告

自 平成26年4月 1日
至 平成27年3月31日

公益財団法人札幌市公園緑化協会

事業運営の概要

平成 26 年度は公益財団法人への移行 2 年目にあたり、あらためて新公益法人制度の趣旨を踏まえながら、当協会の目的達成のため公益性や透明性の確保とともに新規事業の企画・創出に努めました。特に、当協会と札幌市立大学によりガーデニングボランティアのリーダー養成を目的として開催してきた「さっぽろ緑花園芸学校」での講義と実習を基に編集した「まちづくりのための北のガーデニングボランティアハンドブック」を当協会設立 30 周年記念として出版するなど、これまで蓄積してきた知識・技術等の活用に努めました。

公 1 事業では、札幌市都市緑化基金の運用益等を活用した民有地緑化及び緑化推進に関する普及啓発、ガーデニングボランティア等の人材養成並びにネットワーク化を推進する等の事業を実施しました。特に、緑の絵コンクール入賞作品集や緑と花のフォトコンテストの作品を活用した公園フォトブックを新たに作成するなど、魅力ある事業の実施に精励しました。

公 2 事業では、都市公園等の管理運営を通して公園緑地の保全と多様な利用、都市緑化の推進と普及啓発等を図り、ソフト・ハード両面から、利用者の総合的な満足度向上と公園施設等の魅力向上に取り組みました。大通公園など多くの公園緑地では指定管理者としての再スタート 1 年目であり、安全・公平・公正を基本として管理運営を行うとともに、札幌国際芸術祭の関連イベント等の実施のほか、公園施設を活用した展示会、講習会、体験会、コンサートなど、より魅力ある事業の実施とサービスの向上に努めました。また、地域や大学・研究機関と連携し、北国札幌の気候風土に合った植物管理を行いました。さらに 3 か所の緑化植物園に専門の相談員を配置して緑化相談を実施するとともに、ホームページや情報誌等を活用して各種公園情報等を発信・提供しました。公園内の野球場・テニスコート等の運動施設においては、安全で快適な施設の提供とともに、施設を活用した健康運動教室や初心者教室の開催など、公園の利用促進、スポーツの振興及び市民の健康増進に努めました。このほか、特に指定管理者の選定においては、これまでの実績とともに新たな提案が総合的に評価された結果、西岡公園が再選定され、新たに公募された月寒公園についてもコンソーシアムの代表として応募し、選定されました。

国営滝野すずらん丘陵公園については、運営維持管理業務の代表団体として一般財団法人公園財団と連携しながら全体のマネジメント及び各事業の企画立案・実施のほか、園内施設等を適正に管理しました。

収益事業については、民有地の緑化や都市公園の管理などの公益事業を支える収益を確保するとともに、公園緑地・施設利用者の利便性とサービスの向上を図るため、公園施設内等における便益事業を実施しました。

法人運営全体としては、組織横断的な取組みを継続し、現場間の情報共有と応援体制等を強化するとともに、人材育成の観点から職員の各種研修参加、必要資格の取得促進に努め、公益財団法人として、コンプライアンスの徹底及び効率的な組織運営を図りました。

公 1 都市緑化基金等事業

札幌市都市緑化基金への募金等造成状況

平成 27 年 3 月 31 日現在
単位：円

区 分		昭和59年度～ 平成25年度	平成26年度	累 計
(財)都市緑化基金助成		3,000,000	0	3,000,000
札幌市補助金		440,483,497	297,545	440,781,042
	助成等	287,174,944	0	287,174,944
	一般募金	153,308,553	297,545	153,606,098
協会への寄付金		26,782,707	1,017,725	27,800,432
	個 人	1,347,934	0	1,347,934
	募金箱	3,633,669	31,078	3,664,747
	企業・団体	11,521,104	986,647	12,507,751
	協会繰入	10,280,000	0	10,280,000
総 計		470,266,204	1,315,270	471,581,474

1 植樹等による民有地緑化事業

- (1) 苗木等の配布
植樹機会を誘因するなど民有地緑化の推進を図るため、市民の慶事に際してライラックの苗木 441 本を配布した。
- (2) 壁面緑化の推進
塀や建物を植物で覆うことにより、民有地緑化の推進を図るため、札幌市民に 14 件 80 株のナツツタの苗を補助した。

2 緑化推進に関する普及啓発事業

- (1) さっぽろ緑と花のフォトコンテスト
緑化意識の高揚と啓発を図るため、札幌市内の公園・緑地における花や緑、自然とのふれあい等をテーマとしたフォトコンテストを実施した。
応募総数 151 人 608 点 四つ切り部門 78 人 272 点
サービスサイズ部門 73 人 336 点
表彰式 平成 26 年 10 月 14 日 札幌すみれホテル
入賞作品の展示 期間:平成 27 年 3 月 20 日～3 月 25 日
場所:富士フィルムフォトサロン札幌
※ 歴代グランプリなど優秀作品は、札幌市役所ホームページで紹介する札幌国際芸術祭のカウントダウン時計「パークロック」のデータとして公開され、その後も観光プロモーションのツールとして活用されている。
- (2) 緑の絵コンクール
次代を担う子どもたちがみどりに親しみと興味を持ち、理解を深めてもらうため、札幌市内の小・中学生を対象とした絵画コンクールを実施した。
参加 33 校、応募総数 1,007 点
表彰式 平成 26 年 10 月 25 日 ホテルノースシティ
入賞作品の展示 期間:平成 26 年 10 月 24 日～10 月 28 日
場所:札幌地下街オーロラコーナー
※ 平成 26 年度に実施したコンクール入賞作品について紹介する冊子を作成・配布した。1,000 部作成。
- (3) さっぽろ公園フォトブックの発行
公園の魅力や豊かな札幌のみどりを伝えることで、みどりの価値や大切さを啓発するため、「さっぽろ緑と花のフォトコンテスト」入賞作品等により、札幌市内の公園について紹介する冊子を作成・配布した。1,000 部作成。
- (4) 園芸等に関する小冊子の発行
北国札幌で植物を扱う上での特徴や楽しさ、花と緑にふれあう環境づくり、また園芸等に関係する高度な知識や技術等について解説する小冊子を作成・配布した。
 - ① 「すくすくみどり」(家庭菜園にチャレンジ)
身近な 10 種類の野菜について、基本的栽培方法とこれまで緑の相談に寄せられた栽培に関する主な質問に答える形で解説した。5,000 部作成。
 - ② 「すくすくみどり技術レポート」(レイズド花壇導入のススメ)
園芸療法や園芸福祉の推進・普及啓発のため、レイズドベッドについて専門的な観点から解説した。300 部作成。

3 都市緑化サポーター養成事業

さっぽろまちづくりガーデニング講座

花や緑を通して地域や社会に貢献できるボランティア、都市緑化のサポーターを養成するため、ガーデニング講座を開講した。(実習 10 回・講義 10 回)

実習受講者 20 人(全 10 回継続)、講義受講者延べ 322 人

4 緑を通して地域コミュニティの活性化を促す事業

フラワーポットの貸出し

身近な花と緑の創出、地域の環境改善・美化、地域コミュニティの活性化等を図るため、札幌市内の団体にフラワーポットを 3 年間無料で貸し出した。初年度は花苗と培養土も提供。貸出数 6 団体 210 基(花苗 1,050 株)。

5 緑のまちづくり活動への助成及び支援事業

(1) さっぽろガーデンシティ活動事業助成

都市緑化の推進、緑化活動によるコミュニティの活性化等を図るため、市民団体等が行う花や緑を切り口としたまちづくり事業に対して、必要経費の一部を助成した。

※ 助成財源:一般財団法人民間都市開発推進機構(MINTO 機構)からの拠出金

平成 26 年度 申込 3 団体、助成 3 団体

【助成先】

① 株式会社 札幌振興公社

「大倉山ジャンプ競技場花の植栽事業」

〈内容〉

競技場の傾斜地にラベンダー 3,000 株を植栽するなどして、花と緑を融合した施設空間を形成し、観光・景観資源としての価値を高める。

② 医療法人社団 豊生会

「東雁来コミュニティファーム(ニルスファーム)造成事業」

〈内容〉

果樹や野菜の収穫などを通して自然の豊かさとお恵みを体験するとともに、誰もが参加できる交流の場を造成し、地域コミュニティの交流と活性化を図る。

③ 関口雄輝記念美術館

「関口雄輝記念美術館(一般開放地)の緑化事業」

〈内容〉

芸術の森と美術館を結ぶ市民に開放している敷地を花壇整備などにより緑化することで、美しい景観を形成するとともに、市民の憩いの場として市民の交流促進を図る。

(2) さっぽろ花と緑のネットワーク事務局の運営

花と緑のボランティア活動に携わる方や、自宅でガーデニングを楽しむ方々の相互交流をはかり、活動に役立つ情報を提供するため、「さっぽろ花と緑のネットワーク事務局」を運営し、「さっぽろタウンガーデナー」への登録促進とさまざまな活動等を支援した。

① 登録・更新

リーフレット、ハンドブック等の配布、またホームページ等を通じて制度の PR 活動を行い、随時登録者を募った。

平成 27 年 3 月 31 日現在登録数:団体 28 団体、個人 248 人

② 情報の発信

・ 会報「花と緑のネットワーク通信」の発行

会報を定期発行し、登録ボランティアの活動紹介や関連イベントをお知らせしたほか、その他活動に役立つ情報を発信した。発行回数:6 回(偶数月発行)。

- ・ ホームページ更新
花と緑に関する最新情報のほか、登録団体の活動紹介や活動支援情報の発信等を行った。記事更新:110回。
- ・ ハンドブックの作成
登録団体情報や助成制度、コンクール情報等を掲載したハンドブックを配布した。1,500部作成。
- ・ 広告掲載
さっぽろタウンガーデナー制度の認知を高め、登録者を増やし、ネットワークをより充実したものとするため、園芸雑誌「MyLoFE」への広告掲載を行った。掲載回数:6回(偶数月発行)。
- ③ 市役所前コンテナガーデンづくり
参加者のスキルアップのためデザインやメンテナンスの講義・実習を行い、市民による市役所前のコンテナガーデンづくりを行った。15回実施、延べ116人参加。
- ④ 中島児童会館花壇づくり
参加者のスキルアップのためデザインやメンテナンスの講義・実習を行い、市民による中島児童会館前の花壇づくりを行った。15回実施、延べ142人参加。
- ⑤ ハンギングバスケット講習会の開催
タウンガーデナーを対象としたハンギングバスケットを作製する講習会を開催した。作製したハンギングバスケットは札幌駅前通りに設置し都心の緑化に貢献した。2回実施、延べ45人参加。
- ⑥ 茶話会(各種講習会)の開催
タウンガーデナーの知識やスキルアップのため、園芸道具の使い方、多肉植物の寄せ植え、花壇メンテナンス講習会等を開催した。6回開催、延べ95人参加。
- ⑦ バスツアーの開催
タウンガーデナーの知識と交流を深めるため、「北海道ガーデンめぐり」in上野ファーム&風のガーデンと題したガーデン・緑地を巡るバスツアーを開催した。41人参加。
- ⑧ フォーラムの開催
「花と緑のまちづくりフォーラム」を開催し、十勝千年の森ヘッドガーデナー新谷みどり氏による基調講演のほか、登録ボランティア団体の活動発表やパネル展示等を行った。162人参加。
- ⑨ パネル展の開催
「さっぽろ花と緑のネットワーク」の取組や、登録ボランティアの活動をPRするためのパネル展を開催し、最終日には併催イベントとしてハーブの飾りをつくる体験コーナーを実施した。
期間:平成27年1月27日~1月30日
場所:札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)

公 2 指定管理等公園施設事業

1 公園緑地、自然環境及び都市緑化等に関する調査・研究

公園緑地における自然環境及び生物多様性の保全を図るため、生物・植物等の調査を実施するとともに、外来生物などの課題について地域全体の問題として捉えて啓発を図った。

(1) 大学、研究機関との連携による生物及び環境等の調査・研究

生物多様性の保全と自然の恵みを将来にわたり享受できる社会の実現、また持続可能な利用を推進するため、公園緑地等における現状や課題を把握すべく調査研究を行った。特に、ライラックなど植物の付加価値を高めることにより、より魅力ある公園づくりを推進するため、研究機関と連携して調査・研究を進めた。

また、酪農学園大学と締結している「連携と協力に関する協定」に基づき、公園内の外来生物問題に関する新たな調査等を実施した。

このほか、大学の研究者や研究機関等と連携して自然環境等の問題について取り組み、改善に向けた対応策を検討・実施するなど、市民への啓発を図った。

(2) 環境教育を通じた生物の調査及び報告展・報告会の開催

次代を担う子どもたちによる生物調査プロジェクトとして、研究者等の指導により調査・研究を実施し、報告展・報告会を開催した。

(3) ボランティアとの協働による園内生物の調査及び報告

公園登録ボランティア等と協働で、公園緑地内の植物や生物の調査を実施し、報告するなどして、市民への啓発を図った。

(4) 緑及び魚類等水生生物の調査・研究

札幌市内の河川等において、水生生物の生息状況の把握と水辺環境の保全等を目的とした調査を実施し、調査結果を公表した。

また、さけ科学館で長年取り組んできた豊平川のサケ資源に関する調査研究の成果を発展させて、研究者や関係行政機関等の参加により、豊平川の野生サケ保全を目標に掲げた「札幌ワイルドサーモンプロジェクト」を発足し、シンポジウムの開催など、市民参加に向けた取組みを推進した。

2 公園緑地及び自然環境等に関する施設の管理運営

公園施設等を適正に管理運営することにより、安心・安全・快適な利用環境の確保、質の高いサービスの提供など、魅力向上に努めた。また、緑化相談や園芸講習会など都市緑化を推進・サポートする専門性の高い事業を実施した。

(1) 安全及びホスピタリティの充実

見どころやイベント、園芸・緑化情報などについて、リーフレット、チラシ、ポスター、ホームページ、札幌市広報誌、マスコミ等への情報提供など、様々な媒体で発信・提供した。特に、公園施設のイベント・展示会・講習会等の開催情報をまとめて紹介する「さっぽろ公園だより」を定期的に発行して広く配布した。

また、誰もが安心して公園施設を楽しむことができるよう、バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化、ハザードマップの更新、AED設置、救命講習受講、緊急時の対応訓練等を実施した。

(2) 開かれた公園管理の推進

市民参加・協働による開かれた管理運営を推進するため、花壇の維持管理やイベントの企画・運営等について、ボランティアや地域住民、関係諸団体等と連携して実施した。

また、公園施設の利用の活性化、市民の活動の場や生きがいの創出、公園を中心とした地域コミュニティを活性化するため、公園施設の利活用協議会等を設置するとともに、利用者アンケートやモニター制度等により市民の声を管理の改善に役立て、より魅力的な公園づくりを進めた。

このほか、公園施設の管理運営計画に記載した提案を確実に実行するため、自己評価と外部委員の検証による「公園マネジメント評価システム」を構築・運用した。

(3) 都市環境の保全及び改善

HES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)の認証を受け、構築した EMS に基づき、公園施設等におけるエネルギー使用量の削減や資源の有効活用など、環境に配慮した取組みに努めた。特に維持管理過程で発生した剪定枝や刈草等の植物廃材をチップ化・堆肥化したほか、各種工作教室等の素材として再利用するなどした。また、市民参加・協働により公園内の生物多様性の保全と普及啓発を図るため、外来生物の駆除イベントや樹林管理等のワークショップ等の環境教育プログラムを企画・実施した。なお、さけ科学館等では、地域の水辺に生息する様々な生物を展示することにより、来館者の興味関心を高め、地域の生物多様性保全の啓発につなげた。

(4) 体験学習プログラム等の実施

自然、生物、歴史など、公園施設の魅力の発信と、身近な環境や緑化の大切さ、公園緑地に対する愛着の醸成を図るため、各種観察会や体験講座等を企画・開催した。特に CISE(ちせ)ネット[科学系博物館等の連携による実物科学教育推進事業]に実施機関として参加した。このほか、公園施設における職場体験、博物館実習等の受け入れを行った。

(5) 公園施設の特性を生かした展示会及びイベント等の開催

園芸植物、自然、文化などの資源を生かした各種展示会やイベント、愛犬家のマナー向上を目的とした犬のマナー講座等を開催した。

また、札幌国際芸術祭 2014 において、各種プログラムの会場となったモエレ沼公園では札幌市と共催で作品展示を行ったほか、百合が原公園、前田森林公園では連携事業を実施した。

(6) 植物及び自然等に関する知識・技術の普及

緑化技術・知識の向上、自然等に関する普及啓発を図るため、各種園芸講習会や生物の飼育展示の企画・開催、専門スタッフによる緑の相談を実施した。また、外部からの要請に応じて、花や緑、自然等に関する講義や講習等に職員を派遣した。

(7) 北国札幌の気候風土に適した植物管理

札幌の気候風土に適した植物を管理し、管理手法も含めた提案を行い、啓発を図った。また公園樹の健全な育成を図るため、樹木管理計画に基づいて適正な管理に努めたほか、稀少植物の保護やその啓発に取り組んだ。

特に、百合が原公園のユリ、川下公園のライラック、平岡公園のウメなど、テーマ植物を有する公園においては、高度な知識・経験・技術に基づいて品種の導入・育成・管理等を進め、公園の価値と魅力をいっそう高めることに努めた。

3 公園緑地等におけるスポーツ・余暇活動及び健康の維持増進に関する事業

運動教室や初心者講習会、競技大会などを企画・実施し、市民の健康増進の場としての公園緑地の利用促進を図った。また、プレーパークや昔遊び等の外遊び企画を実施した。

(1) 健康づくり及び体力の増進

公園緑地や園内施設が市民の健康維持と体力増進の場となるよう、適正な環境整備を行うとともに、各種講習会、運動教室等を企画・開催し、市民の健康づくりを推進した。

(2) プレーパーク等、外遊びの推進

子どもたちの心身の健全な発達と自由な外遊びの場づくりのため、地域や関係団体と連携してプレーパーク事業の推進・普及に努めた。また、子どもの外遊びにつながる取組みとして、竹馬、ソリの無料貸出のほか、イベント時に昔遊びを紹介するなど、外遊びの推進を図った。

(3) スポーツを通じた交流及び競技力の向上

スポーツを通じて市民同士の交流と競技レベルの向上等を図るため、パークゴルフ交流大会等を企画・開催した。

各公園施設における取組み

大通公園

1 普及啓発・利用促進事業等

(1) イベント・講習会等

- ① どんぐりなどを使ったクラフト 81 人
- ② バラの相談会(バラフェスタ) 49 人
- ③ クジラの森の遊びの会 大通公園謎解き探偵団、七夕会 50 人
- ④ 秋の大通公園ツアー 歴史、彫像、樹木などの解説案内 22 人
- ⑤ 雪と遊ぼう！ウィンタースポーツフェスティバル 33,674 人

(2) 利用促進

- ① 竹馬無料貸出 397 人
- ② そり山造成・そり無料貸出 406 人
- ③ 秋のまちなか公園めぐりウォークラリー 中央区内 5 公園のスタンプラリー 30 人

(3) インフォメーションセンターの運営 公園利用案内、観光案内等 9,601 人

2 市民参加・協働等

(1) ボランティア活動の支援

- ① 市民花壇ボランティア 花苗等の植込み(春・夏・秋花壇) 154 人
- ② 花壇維持管理ボランティア 花壇管理、樹木樹名板の作製等 活動 47 日 延べ 338 人
- ③ NPO法人シーズネット 花壇管理 活動 20 日 延べ 178 人
- ④ バラ花壇ボランティア バラの維持管理 活動 46 日 延べ 508 人
- ⑤ ガイドボランティア 公園ガイド 活動 73 日 延べ 373 人
- ⑥ 清掃ボランティアの受入れ 園内のごみ、落ち葉などの清掃作業 45 団体
- ⑦ 雪と遊ぼうイベントボランティア 活動 2 日 延べ 9 人
- ⑧ その他活動団体の支援 ガーデニングリラの会、アルバローズなど
- ⑨ 大通公園・創成川公園ボランティア活動交流会の開催

(2) 体験学習・実習等の受入れ

中央小学校児童による夏花壇の花苗植込み 83 人

(3) 他団体等との協働

- ① 大通公園・創成川公園利活用協議会の開催
- ② ウィンタースポーツフェスティバル実行委員会への参加
- ③ ガーデンアイランド北海道 2014、北海道パークスネットワークへの参加

創成川公園

1 普及啓発・利用促進事業等

(1) イベント・講習会等

- ① 創成川公園ライラックまつり ライラックの案内所、しおり作り等 約 200 人
- ② 創成川公園七夕まつり 80 人
- ③ 創成川公園まるわかりガイドツアー 植物、歴史、彫刻作品等の解説案内 3 回 37 人
- ④ 創成川公園アートフェスタ 手作り品の講習会等 30 人
- ⑤ こども彫刻清掃体験 園内彫刻作品の清掃 20 人
- ⑥ 創成川ハロウィン 手作り体験、絵本読み聞かせ、キャンドル点灯等 約 300 人
- ⑦ 創成川公園まちの灯り スノーキャンドル作製・点灯 2 回 約 150 人

(2) 利用促進

秋のまちなか公園めぐりウォークラリー 中央区内 5 公園のスタンプラリー 30 人

2 市民参加・協働等

(1) ボランティア活動の支援

- ① 植物ボランティア ライラック等の剪定・植物管理 活動 19 日 延べ 166 人
- ② お助け隊 園内清掃・除草、イベント企画運営等 活動 25 日 延べ 193 人
- ③ 清掃等ボランティアの受入れ 15 団体

(2) 他団体等との協働

- ① 狸二条広場運営協議会、広場活用検討部会への出席 18 回
- ② 狸二条広場運営協議会主催事業への協力
・創成川公園サンキューフェスティバル ステージイベント等 3 日間 7,683 人
- ③ ガーデンアイランド北海道 2014、北海道パークスネットワークへの参加

中島公園・豊平川緑地(上流地区)

1 普及啓発・利用促進事業等

(1) イベント・講習会等

- ① 桜まつり 桜湯の無料提供等 200 人
- ② 中島公園見どころ探訪ツアー 公園の歴史、施設、樹木、彫刻等の解説案内 20 人
- ③ 中島 Kids ガーデン 年間プログラムの体験菜園 20 回 延べ 365 人
- ④ 冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう！ in 中島公園
- ⑤ 第 9 回ゆきあかり in 中島公園 スノーキャンドル展示、作品コンテスト等 約 6,500 人
- ⑥ はじめてのスノーシュー体験 3 人
- ⑦ 中島公園バードウォッチング
- ⑧ パークゴルフ大会(豊平川緑地パークゴルフ場)
 - ・公園緑化協会杯チャンピオンシップ予選会 40 人
 - ・豊平川緑地パークゴルフ場ラストコール大会 135 人

(2) 利用促進

- ① 中島公園樹木マップの作成・配布 園内の代表的な樹木を巡るコースを設定・紹介
- ② 秋のまちなか公園めぐりウォークラリー 中央区内 5 公園のスタンプラリー 30 人
- ③ スノーシュー無料貸出

(3) 札幌まつり管理 来園者数 約 27 万人

2 市民参加・協働等

(1) ボランティア活動の支援

フローレス3B 花壇・バラ管理等 活動 30 日 延べ 133 人

(2) 他団体等との協働

- ① 中島公園地域コミュニティー推進協議会(利活用協議会)の開催 3 回
- ② かもくま祭実行委員会への参加 ネイチャークラフト等を担当 221 人
- ③ 鴨々川ノスタルジア実行委員会への参加 日本庭園で「なりわい村」実施 約 1,000 人
- ④ ガーデンアイランド北海道 2014、北海道パークスネットワークへの参加

3 調査・研究等

中島公園・菖蒲池の生物調査 酪農学園大学と共同

4 利用料金収入

11,958,080 円(豊平川緑地パークゴルフ場南 7 条コース、同南大橋コース、南 22 条野球場)

円山公園

1 普及啓発・利用促進事業等

- (1) イベント・講習会等
 - ① リース作り講習会 30人
 - ② スノーキャンドル 20人
- (2) 利用促進
 - ① 秋のまちなか公園めぐりウォークラリー 中央区内5公園のスタンプラリー 30人
 - ② 竹馬の無料貸出 244人
 - ③ 雪山造成管理、スノーチューブの無料貸出 約1,500人
- (3) 花見期間管理 園内総合管理、関係機関等との連絡調整、開花情報発信等 来園者数 59,773人

2 市民参加・協働等

- (1) ボランティア活動の支援
 - ① 円山公園ボランティア 花壇管理、外来植物駆除、清掃、イベント等 活動28日 延べ125人
 - ② 樹木保護ボランティア カツラ老木周辺への立入規制のための防護柵設置 6人
- (2) 他団体等との協働
 - ① ちょこっとプレーパーク さっぽろ冒険遊びの会との共催 17回 延べ1,372人
 - ② まるやまプレーパーク NPO法人ねおすとの共催 18回 延べ525人
 - ③ ガーデンアイランド北海道2014、北海道パークスネットワークへの参加

3 利用料金収入

845,220円(坂下野球場、自由広場)

百合が原公園

1 普及啓発・利用促進事業等

- (1) イベント・講習会・展示会等
 - ① 植物展示会(春の花展、セントポーリア展等) 22回 287日 入館者73,555人
 - ② 講習会・観察会等(お散歩ガイド、各種植物講習会等) 76回 1,004人
 - ③ コンサート 4回 約3,500人
 - ④ オリエンテーリング 3回 延べ206人
 - ⑤ 紅葉祭り 約1,000人
 - ⑥ プレーパーク 4回 延べ370人 自然あそびの会どろっぽと共催
- (2) 利用促進
 - ① ゆり月間(ユリ展、各種講習会等) 5,541人
 - ② 冬季事業(歩くスキー及び冬の散歩道造成及び維持管理、スノーキャンドル作製等)

2 市民参加・協働等

- (1) ボランティア活動の支援
 - ① 温室管理ボランティア 98日 延べ497人
 - ② バラ管理ボランティア 22日 延べ108人
 - ③ 宿根草管理ボランティア 28日 延べ141人
 - ④ 公園ガイドボランティア 26日 延べ213人
 - ⑤ ラブアース・クリーンアップin北海道 1日 21人
 - ⑥ スノーキャンドル 7日 延べ81人
- (2) 体験学習・実習等の受入れ
当別高校、豊明高等養護学校、百合が原小学校、酪農学園大学ほか 11日
- (3) 他団体等との協働

ガーデンアイランド北海道 2014、北海道パークスネットワーク、札幌まちなめぐりパス 2014、生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワークへの参加

3 緑の相談

2,486 件

4 調査・研究等

- (1) 夏剪定枝堆肥化実験 (一財)札幌市環境事業公社と共同
- (2) 都市公園の芝生における窒素循環の解明に関する調査 北海道大学と共同
- (3) イオン液体を活用したユリ発芽孔の元素分析による系統分類 佐賀大学と共同
- (4) 百合が原公園内の池の生物調査 酪農学園大学と共同

5 利用料金収入

14,516,850 円(温室、世界の庭園、リゾートレイン)

モエレ沼公園

1 普及啓発・利用促進事業等

- (1) イベント・講習会・展示会等
 - ① モエレの1年展 8,118 人
 - ② 札幌国際芸術祭 2014 70,551 人
 - ③ モエレのホワイトクリスマス 2014 337 人
 - ④ 「想像の山脈」展 2,544 人
- (2) 利用促進
歩くスキーコースの造成・管理

2 市民参加・協働等

- (1) ボランティア活動の支援
モイレ HIDAMARI 22 日 延べ 148 人
サクラツアー、モエレクラブ、スノーキャンドル作製、樹林地管理・観察会等
- (2) 他団体等との協働
 - ① NPO 法人公園ねっとわーく
冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう! 8 人
 - ② NPO 法人モエレ沼公園の活用を考える会 6 日 延べ 158 人
ふしぎヒコーキワークショップ 2014、ログドラムをつくろう、ログドラムをたたこう
新春アトリウムコンサート
 - ③ モエレ沼公園利活用協議会の開催
 - ④ サッポロさとらんど(札幌市農業体験交流施設) さとモエ合同ウォーキング 98 人
 - ⑤ ガーデンアイランド北海道 2014、北海道パークスネットワーク、札幌まちなめぐりパス 2014 への参加

3 調査・研究等

都市公園の芝生における窒素循環の解明に関する調査 北海道大学と共同

4 利用料金収入

20,439,250 円(テニスコート、陸上競技場、野球場、コインシャワー、レンタサイクル、屋外ステージ、ガラスのピラミッド)

川下公園・北郷公園・豊平川緑地(下流地区)

1 普及啓発・利用促進事業等

- (1) イベント・講習会・展示会等
 - ① ライラック展示会
 - ② 第56回さっぽろライラックまつり in 川下公園 4,195人
ライラックスタンプラリー、ライラック苗木無料配布、コンサート等
 - ③ ライラックツアー 6回 113人
 - ④ 水中健康教室 68回 延べ1,150人
 - ⑤ パークゴルフ大会 2回 延べ84人
 - ⑥ みつばち調査隊 延べ117人
 - ⑦ サマーフェスティバル 2,285人
 - ⑧ スノーフェスティバル 669人
 - ⑨ まつぼっくりアート講習会 18人
 - ⑩ やってみようスノーシュー～春の鳥さがし～ 7人
 - ⑪ プレーパーク 4回 延べ234人
- (2) 利用促進
歩くスキーコースの造成・管理

2 市民参加・協働等

- (1) ボランティア活動の支援
 - ① 川下公園ボランティア団体「りらら」 延べ26人
 - ② 「白石区でっち奉公」 50人
- (2) 他団体等との協働
 - ① 川下公園利活用協議会の開催
 - ② 雪遊びフェスティバル(北東白石地区青少年育成委員会と共催) 約300人
 - ③ ガーデンアイランド北海道2014、北海道パークスネットワークへの参加

3 調査・研究等

- (1) ライラックの香りの分析 (独)農業・食品産業技術総合研究機構と共同
- (2) 都市公園の芝生における窒素循環の解明に関する調査 北海道大学と共同

4 利用料金収入

16,280,836円(リラックスプラザプール・浴室、川下公園パークゴルフ場・野球場・テニスコート、北郷公園野球場、米里サッカー場)

厚別公園

1 普及啓発・利用促進事業等

- (1) イベント・講習会等
 - ① 運動教室(リズムウォーキング教室等18講座) 944回 延べ10,124人
 - ② スポーツ講習会等
 - ・ ノルディックウォーキング講習会 2回 11人
 - ・ 歩くスキー講習会 16人
 - ・ さわやか健康ウォーキング 5人
 - ③ 植物及び自然等に関する知識・技術の普及
 - ・ 種まき講習会 33人
 - ④ 冬季の公園利用促進事業

- ・ 厚別公園冬フェスタ 328 人
- ・ のりのりチューブ 60 人

- (2) 利用促進
歩くスキーコースの造成・管理

2 市民参加・協働等

- (1) ボランティア活動の支援
- ① 厚別フラワーボランティア 13 日 延べ 66 人
 - ② ラブアース・クリーンアップ in 北海道 13 人
- (2) 体験学習・実習等の受入れ
- ① 上野幌西小学校 5 年生によるフラワープランター花植え 43 人
 - ② 中学生職場体験 2 校 7 人
- (3) 他団体等との協働
新さっぽろ冬まつり企画運営協力

3 利用料金収入

12,186,479 円(主競技場、補助競技場、会義室、トレーニング室)

豊平公園

1 普及啓発・利用促進事業等

- (1) イベント・講習会・展示会等
- ① 展示会(ハーブ、盆栽、きのこ、洋ラン展等) 28 回 202 日 入館者 36,267 人
 - ② 園芸教室(家庭菜園、鉢花栽培、冬囲い、病害虫防除、果樹剪定等) 41 回 865 人
 - ③ 自然教室(自然観察会、スライド上映会等) 5 回 109 人
 - ④ クラフト講習会(アレンジ押し花、あけびクラフト、クリスマスリース、ボタニカルアート等) 22 回 282 人
 - ⑤ コチョウラン植え替えサービス 3 回 155 人
 - ⑥ 子ども向け環境教育行事 3 回 39 人
 - ⑦ スノーキャンドル
- (2) 利用促進
「緑のセンターだより」発行(毎月)

2 市民参加・協働等

- (1) ボランティア活動の支援
- ① 豊平公園花とハーブの会 26 日 延べ 168 人
花壇管理、ハーブ展運営、クリスマス展準備、スノーキャンドル準備
 - ② 樹木会 活動 4 日 延べ 26 人
園内低木、花木の剪定管理
- (2) 他団体等との協働
ガーデンアイランド北海道 2014、生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク、北海道パークスネットワークへの参加

3 緑の相談

31,037 件

4 利用料金収入

1,313,960 円(テニスコート、講義室)

平岡公園・清田南公園

1 普及啓発・利用促進事業等

(1) イベント・講習会等

- ① 梅まつり 来園者数 113,622 人
- ② 公園ツアー 6回 77 人
- ③ ながぐつの土ようび（平岡どんぐりの森と協働）7回 270 人
- ④ ツリーウォッチング（平岡どんぐりの森と協働）7回 111 人
- ⑤ にぎわいフェスタ（平岡どんぐりの森・酪農学園大学と協働）2回 158 人

(2) 利用促進

- ① ウメ開花予測（3回）
- ② スキー山管理

2 市民参加・協働等

(1) ボランティア活動の支援

- ① 平岡どんぐりの森 16日 延べ 234 人
- ② 平岡公園パークゴルフ同好会 169日 延べ 393 人
- ③ 梅ボランティア 13日 延べ 33 人
- ④ 清田南公園野球場ボランティア 少年野球用多目的広場利用調整

(2) 体験学習・実習等の受入れ

- ① 酪農学園大学3年生実習受け入れ協力 120 人
- ② 平岡南小学校3年生 総合学習受入れ（平岡どんぐりの森協力）2回 256 人

(3) 他団体等との協働

- ① 平岡公園・平岡樹芸センター利活用協議会の開催 2回
- ② はらっぱ会議の開催（人工湿地の復元・創出について）
参加者：札幌市・札幌市立大学・酪農学園大学・平岡どんぐりの森等 16 人
- ③ ガーデンアイランド北海道 2014、北海道パークスネットワークへの参加

3 調査・研究等

(1) 園内生息トノサマガエル（外来種）の生態・食性調査及び影響調査

期間：4月15日～3月31日 酪農学園大学・学生、平岡どんぐりの森等と共同

(2) 白梅香り成分の抽出実験 北海道林業試験場緑化樹センターと共同

4 利用料金収入

3,415,840 円（平岡公園テニスコート・野球場、清田南公園テニスコート）

平岡樹芸センター

1 普及啓発・利用促進事業等

(1) イベント・講習会等

- ① 園芸教室（ツツジ、マツ、オンコ、ブドウなどの剪定等）20回 399 人
- ② 夏祭り（環境サポーターズ「三次郎の会」と共催） 33 人
- ③ 庭園コンサート（環境サポーターズ「三次郎の会」と共催） 963 人

(2) 利用促進

紅葉の状況に合わせた休園日特別開放及び開園期間延長

2 市民参加・協働等

(1) ボランティア活動の支援

- ① 環境サポーターズ「三次郎の会」 27日 延べ 319人
 - ② 「樹木会」 68日 延べ 314人
- (2) 他団体等との協働
- ① 平岡公園・平岡樹芸センター利活用協議会開催 2回
 - ② ガーデンアイランド北海道 2014、生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク、北海道パークスネットワークへの参加

3 緑の相談

705件

農試公園・発寒西陵公園

1 普及啓発・利用促進事業等

- (1) イベント・講習会等
- ① 運動・スポーツに関する講習会
かけっこ、ランニング、ノルディックウォーキング、パークゴルフ、歩くスキー等 計9回 126人
 - ② クラフト体験等
森の兜、ウッドフレーム、竹風鈴、クリスマスグッズ、正月飾り、手まり、森の時計 計8回 215人
 - ③ 園芸講習会 計2回
ペットボトルでハンギングプランターづくり 20人、春植えの花を種から育てよう 25人
 - ④ おまつりイベント 計3回
 - ・ のうし夏まつり クラフト体験、段ボール迷路、凧揚げ、消火体験等 335人
 - ・ のうし秋まつり クラフト体験、ストラックアウト、キックターゲット、やまべ体操等 3,731人
 - ・ のうし冬まつり クラフト体験、凧づくり、スノーキャンドル作製・点灯 224人
 - ⑤ さけ科学館との連携開催事業(琴似発寒川) 計4回
さかなウォッチング 27人、公開さかな調査 112人、サケ観察会 2回 191人
 - ⑥ その他の実施事業
 - ・ 自転車教室 60人
 - ・ 忍者になって修行だ！ 忍者をテーマにした親子向けの公園遊びプログラム 20人
 - ・ ラブアース・クリーンアップ in 北海道 10人
 - ・ のうしアンサンブルミニコンサート 296人
 - ・ のうしサマープレーパーク、のうし☆ゆう・ゆうパーク 3回 延べ 110人
- (2) 利用促進
- ① 歩くスキーのコース設置・維持管理
 - ② わいわいタイヤチューブ 園内コースをスノーモバイルで引いて運行 延べ 1,884人
 - ③ 屋内広場パークゴルフコースの設置 延べ 763人
 - ④ 「農試公園だより」の発行(毎月)
 - ⑤ トンカチ広場での木工作キットの作製指導

2 市民参加・協働等

- (1) ボランティア活動の支援
- ① 農試公園であそぶか〜い プレーパーク活動、イベント等協力 活動46日 延べ 830人
 - ② カポック 屋内緑化植物の維持管理等 活動42日 延べ 188人
 - ③ 札幌ペタンク協会 ゲートボールコートの維持管理 活動3日 延べ 40人
 - ④ 西区ゲートボール協会 ゲートボールコートの維持管理 活動6日 延べ 65人
- (2) 他団体等との協働
- ① 西区スポカルネット 西区内の運動・文化等の公共施設が参加 普及事業等の相互協力
 - ② 交通安全高齢者自転車大会 (一財)北海道交通安全協会等との共催 63人
 - ③ 西区連合町内会 琴似発寒川一斉清掃、ヤマメ稚魚放流への協力

3 利用料金収入

18,026,030 円(農試公園屋内広場・野球場・軟式テニスコート・硬式テニスコート、
発寒西陵公園硬式テニスコート)

手稲稲積公園・北発寒公園・前田公園

1 普及啓発・利用促進事業等

- (1) イベント・講習会等
- ① プリザーブドフラワーアレンジメント体験教室 5人
 - ② 木工作講習(木っ端でクラフト) いなづみ児童会館との共催 16人
 - ③ ノルディックウォーキング講習会 6人
 - ④ テニス1day講習会 16人

2 市民参加・協働等

- (1) ボランティア活動の支援
パークゴルフ手稲同好会 コース管理等 活動190日 延べ75人
- (2) 体験学習・実習等の受入れ
- ① 稲積小学校児童による花苗植え込み実習 41人
 - ② 手稲中学校生徒の職場体験学習(学校の日程の都合で中止)
- (3) 他団体等との協働
- ① 手稲稲積公園利活用協議会の開催
 - ② 前田ふれあいまつり(前田公園) 地域主催のイベントに体験工作等の出し物で協力

3 利用料金収入

9,781,950 円(手稲稲積公園野球場・硬式テニスコート、北発寒公園野球場・硬式テニスコート・
軟式テニスコート、前田公園野球場・硬式テニスコート)

前田森林公園・星置公園・明日風公園・山口緑地

1 普及啓発・利用促進事業等

- (1) イベント・講習会等
- ① ふじまつり フジの観察会、リースの作製等
 - ② ラブアース・クリーンアップ in 北海道 10人
 - ③ クリスマスリース作り(前田森林公園、明日風公園) 2回 35人
 - ④ ミニ門松作り 11人
 - ⑤ スノーキャンドル
 - ⑥ パークゴルフ初心者講習会(前田森林公園、山口緑地) 4回 54人
 - ⑦ パークゴルフ大会(前田森林公園、山口緑地) 3回 延べ318人
 - ⑧ 歩くスキー初心者講習会 2回 57人
- (2) 利用促進
- ① 前田森林公園フォトコンテスト フラワーアートウィーク、公園の四季の写真 受賞作25点
 - ② ジョギング・ウォーキング用の距離標の設置
 - ③ ラリーカードの発行 ジョギング、ウォーキング、歩くスキーの利用距離に応じたスタンプカード
 - ④ 歩くスキーコースの設営、維持管理
 - ⑤ 雪上パークゴルフコースの設置・運営 延べ580人
 - ⑥ スノーラフティングボートの運行 延べ480人
 - ⑦ そりの無料レンタル

- (3) 前田森林公園フラワーアートウィーク
札幌国際芸術祭関連事業 約3万人

2 市民参加・協働等

- (1) ボランティア活動の支援
- ① 前田森林公園凸凹クラブ 連携による普及事業の開催、公園イベントへの協力など
 - ・ トンカチ広場 6回 220人
 - ・ 自然観察会 5回 130人
 - ② 市民ボランティアによるカナル清掃 30人
- (2) 体験学習・実習等の受入れ
- ① 前田森林公園
 - ・ 札幌工科専門学校 1人 12日間
 - ・ 北海道札幌高等養護学校 2人 5日間
 - ・ 札幌市立豊明高等養護学校 1人 10日間
 - ② 星置公園
 - ・ 札幌稲穂高等支援学校 8人 3日間
- (3) 他団体等との協働
- ① フライングディスクドッグ大会 FDS(競技団体)との連携により開催 約100人
 - ② プレーパーク 手稲プレーパークの会による開催に協力 7回
 - ③ スノーラフティング体験(星置公園) さっぽろ健康スポーツ財団(星置スケート場)との連携による開催
 - ④ ガーデンアイランド北海道2014、北海道パークスネットワークへの参加

3 調査・研究等

都市公園の芝生における窒素循環の解明に関する調査 北海道大学と共同

4 利用料金収入

22,127,785円(前田森林公園パークゴルフ場・野球場・球技場、星置公園野球場・テニスコート、明日風公園テニスコート、山口緑地西パークゴルフ場・東パークゴルフ場)

西岡公園・西岡中央公園・吉田川公園

1 普及啓発・利用促進事業等

- (1) イベント・講習会・展示会等
- ① 西岡公園ガイドウォーク 28回 143人
 - ② 西岡ヤンマ団 11回 延べ186人
 - ③ にしおか魚組 13回 延べ156人
 - ④ カルチャーナイト 42人
 - ⑤ ホタル観察ガイド 7回 926人
 - ⑥ 子りす工房～おとなの日・こどもの日 118回 189人
 - ⑦ 夏のイベント 昆虫たんけん隊他 5回 89人
 - ⑧ 西岡水源池 in チカホ 491人
 - ⑨ マルシェ de 西岡公園 約1,000人
 - ⑩ スノーキャンドル 130人
 - ⑪ かんじきウォーク 17人
 - ⑫ プレーパーク 延べ287人
- (2) 利用促進
「西岡見聞録」の発行(毎月)

2 市民参加・協働等

- (1) ボランティア活動の支援
 - ① ニハルクラブ(ヤンマ団の支援) 47日 延べ170人
 - ② 森の工作(クラブト) 128日 延べ531人
 - ③ 植物の会 16日 延べ125人
 - ④ 西岡マダム(花壇) 90日 延べ69人
 - ⑤ 遊木森森(プレーパーク) 6日 延べ82人
 - ⑥ ガイドボランティア 28日 延べ69人
 - ⑦ 西岡中央公園パークゴルフボランティア144日 延べ199人
 - ⑧ 西岡中央公園グラウンドボランティア 151日 延べ277人
 - ⑨ 吉田川公園多目的広場ボランティア 93日 延べ127人
 - ⑩ 吉田川公園パークゴルフボランティア 10日 延べ14人
 - ⑪ オオハンゴンソウの抜き取り駆除ボランティア 7人
- (2) 体験学習・実習等の受入れ
澄川南小学校職業体験
- (3) 他団体等との協働
 - ① 西岡自然パネル開催 2回
 - ② ガーデンアイランド北海道2014、北海道パークスネットワークへの参加

3 調査・研究等

- (1) 西岡公園自然調査報告展(円山動物園、豊平川さけ科学館で開催) 461人
- (2) 西岡公園自然調査報告会(札幌市円山動物園で開催) 106人

4 利用料金収入

986,880円(西岡中央公園テニスコート、吉田川公園テニスコート)

札幌市豊平川さけ科学館

1 普及啓発・利用促進事業等

- (1) イベント・講習会等 計12,203人
無料エサやり体験19回、サケ稚魚体験放流4回、サーモンスクール放流式
サケのいない時期のサケ教室5回、さかなウォッチング3回、さっぽろサケフェスタ2014
サケ・タッチ・プール4回、人工受精体験4回、サケ観察会4回
さけ科学館30周年記念フォーラム、サケ皮で靴づくり2回、イトウのおなかにさわる等
- (2) 利用促進
 - ① 館内特別展示
みんなのサケの絵展、札幌ワイルドサーモンプロジェクトポスター展、西岡公園自然調査報告展
真駒内公園小学校ミニ展示、小さな雪まつりがやってきた
 - ② さけ科学館メールマガジン「チェッポだより」の配信(毎月)
 - ③ さけ科学館30周年記念誌の発行
- (3) 入館者数 81,324人
- (4) 外部からの依頼への対応
 - ① 体験・実習等 計1,397人
さかなウォッチング8回、採卵実習2回、人工受精体験2回、サーモン・ウォッチング4回
タッチプール(ザリガニ・サケ)9回、エサやり体験2回
 - ② その他
講演・授業等の講師、館外の水槽展示、魚類等の飼育指導、河川工事・調査業務への助言等

2 市民参加・協働等

- (1) ボランティア活動の支援

さけ科学館ボランティアの会 行事サポート、飼育管理、調査対応等 活動 206 日 延べ 374 人

- (2) 博物館実習等の受入れ
 - ① 博物館実習 2 大学・5 人 計 28 日間
 - ② 職場体験 新川高校 2 人、中央中学校 3 人
- (3) 他団体等との協働
 - ① イベント等への参加・共催、協議会・会議等への参加
北海道サーモン協会、真駒内川水辺の楽校、カッコウの里を語る会、自然ウォッチングセンター
真駒内芸術の森緑の回廊基金、(独)水産総合研究センター、東海大学、CISE ネット
札幌ワイルドサーモンプロジェクト、札幌シーニックバイウエイ藻岩山麓・定山溪ルート
生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク
 - ② 真駒内公園を考え育てる協議会への参加 公園指定管理者の主導により開催

3 調査・研究等

- (1) 札幌市内のサケに関する調査、事業等
 - ① サケの遡上状況等調査(札幌市内河川)
 - ・産卵床確認数 693 箇所(豊平川 454,琴似発寒川 169,星置川 64,濁川 6)
 - ・親魚遡上推定数 1,386 尾(豊平川 908,琴似発寒川 338,星置川 128,濁川 12)
 - ② サケのふ化放流事業
採卵数 274,230 粒 稚魚放流数 259,200 尾(平成 25 年 10~12 月採卵分)
- (2) 魚類等調査
 - ① 普及啓発業務に関連した調査 調査地点 50 ヶ所 確認生物種数 44 種(魚類・甲殻類)
 - ② 中島公園・百合が原公園内の池の生物調査 酪農学園大学と共同
 - ③ 外部からの依頼による調査
真駒内川サクラマス産卵床調査、標津川水系サクラマス産卵床調査
シロザケ嗅覚応答実験用サケ親魚活魚運搬
シロザケの採捕及び産卵床調査(石狩川支流忠別川)
- (3) 大学・研究機関等の調査・研究への協力 計 9 件
対 象:サケ等活魚を用いた生理・生態・行動に関する各種実験
内 容:供試魚(サケ稚魚・親魚、ベニザケ親魚)の提供・飼育・畜養、実験環境の提供、実験のサポート
協力先:(独)水産総合研究センター、北海道大学、(地独)北海道立総合研究機構、日本大学、東海大学

旭山記念公園

1 普及啓発・利用促進事業等

- (1) イベント・講習会等
 - ① カルチャーナイト「空き缶を使ったランタン作り」 10 人
 - ② オオハンゴンソウの駆除 17 人
 - ③ ラブアース・クリーンアップ in 北海道 12 人
 - ④ 自然観察会 6 回 14 人
 - ⑤ 野鳥観察会 3 回 40 人
 - ⑥ 森のリース作り 20 人
 - ⑦ スノーシューウォーキングと自然観察会 2 回 2 人
 - ⑧ タンポポを使ったモビール作り 5 人
 - ⑨ ぶらり旭山 園内の歴史ガイド 2 人
 - ⑩ 家庭でできる! 堆肥作り講習会 10 人
 - ⑪ クマと自然に関するお話し in 森の家カフェ 7 人
- (2) 利用促進
 - ① 園内情報紙「アカゲラ通信」の発行(毎月)
 - ② 初日の出レストハウス開放
 - ③ 秋のまちなか公園めぐりウォークラリー 中央区内 5 公園のスタンプラリー 30 人

(3) 森の家開放 夏期週 4 日、冬期週 2 日 イベント等利用、休憩等 5,165 人

(4) レストハウスの営業 4～11 月 利用案内、休憩等

2 市民参加・協働等

<他団体等との協働>

① 旭山記念公園市民活動協議会

- ・ 森のフェスティバル 森遊び、自然観察会、自然素材のクラフト 75 人
- ・ 冬のフェスティバル 冬の外遊び、自然観察会、自然素材のクラフト 113 人
- ・ 星空観察会(移動天文車) 84 人
- ・ マイツリー探しと樹名板作り 14 人
- ・ 夏まつり in 旭山 30 人
- ・ 冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう！ 75 人

② 旭山公園 kids(協議会メンバー)

- ・ 森の遊び場(プレーパーク) 5 回 延べ 51 人

他 1 国営公園等受託事業

滝野すずらん丘陵公園運営維持管理業務の代表団体として、公園・園内施設の利用対応、イベント等の企画・実施のほか、管理計画に従い植物・園内施設等の維持管理業務を実施した。

1 滝野すずらん丘陵公園運営維持管理業務の総轄

- (1) 園内の総務・経理事務
- (2) 入園料の徴収事務
- (3) 植物管理・施設管理・園内及び建物清掃
- (4) 入園者数 年間入園者数 576,231人

2 利用指導及び利用サービス等

- (1) 利用促進事業
 - すずらんメール発行 5回/年(総配布部数 1,090,500部)
 - イベントチラシ(新聞折込広告) 3回/年(総配布部数 1,112,000部)
 - 道内外旅行情報誌への広告掲載及び旅行博覧会でのPR活動等
- (2) 滝野の森における利用プログラム
 - 開催回数 315回 延べ11,423人
- (3) ホームページのアクセス件数
 - 1,888,507件
- (4) ボランティア活動
 - ① フラワーガイドボランティア
 - ・登録人数 39人(延べ758人)
 - ・活動期間 4月26日～10月13日(169日間)
 - ・活動内容 ガーデンツアー、巡回ガイド等
 - ・参加者数 3,330人
 - ② 滝野の森クラブ
 - ・登録人数 44人(延べ1,572人)
 - ・活動期間 4月11日～3月29日(238日間)
 - ・活動内容 ガイドツアー、スノーシューガイド、森の楽校等
 - ・参加者数 4,578人
- (5) 主なイベント
 - ① 星空観察会 5月9日～9月26日の間の第2・第4土曜日
 - ② チューリップ・すずらんフェスタ 5月23日～6月14日
 - ③ 滝野なつやすみ 7月23日～8月16日
 - ④ コスモスフェスタ 9月12日～10月4日
 - ⑤ 第4回北海道キャンピングフェア 5月23日～5月24日
 - ⑥ ノルディックウォーキングツアー 5月24日～10月25日の間の第3土曜日
 - ⑦ 冒険遊び場きのたんの森の開催 5月4日～10月19日の間の毎週日曜日
1月11日～3月15日の間の毎週日曜日
 - ⑧ 滝野スノーフェスティバル(たきの冬花火・夜間開園他) 2月7日・8日
 - ⑨ 早朝開園
 - ・滝野の森で日の出を見よう:1月4日
 - ・早朝の氷瀑を見に行こう:1月14日、1月24日、2月1日
 - ⑩ パンジー・ビオラ Collection2014 4月25日～6月21日

収 1 公園施設等附帯収益事業

公園緑地・施設利用者の利便性と市民サービスの向上及び継続的な公益目的事業の展開とその充実を図るため、公園緑地・施設内における便益施設の運営等を行った。

1 常設売店の運営

公園施設等で売店施設を運営し、オリジナル商品の販売や、公園緑地の多目的利用をサポートする備品の貸出し等を行った。また、百合が原公園、豊平公園、川下公園等では、札幌市の気候条件と季節に合った鉢花や、植物等に関する書籍、園芸用品等を販売した。

(1) 営業場所

大通公園、中島公園、円山公園、百合が原公園、モエレ沼公園、川下公園、厚別公園、豊平公園、平岡公園、平岡樹芸センター、農試公園、手稲稲積公園、前田森林公園、西岡公園、旭山記念公園、札幌市豊平川さけ科学館、月寒公園、オンライン・ショップ

(2) 商品

鉢花等植物、園芸用品、オリジナルグッズ、スポーツ用品、用具レンタル（スポーツ用品、照明器具、音響設備、楽器）等

(3) 収入金額

75, 303, 259円

2 臨時売店の設置運営

売店施設のない公園緑地及びイベント開催時等に臨時売店を設置し、営業した。

(1) 営業場所

大通公園、中島公園、百合が原公園、モエレ沼公園、川下公園、厚別公園、平岡公園、平岡樹芸センター、農試公園、前田公園、前田森林公園、山口緑地、創成川公園、旭山記念公園、札幌市豊平川さけ科学館

(2) 商品

飲食物、植物、絵葉書、しおり、防災グッズ、その他公園施設関連商品等

(3) 収入金額

11, 760, 191円

3 自動販売機の設置運営

公園緑地・施設に自動販売機を設置し、清涼飲料水、冷菓等を販売した。

(1) 設置場所

大通公園、中島公園、円山公園、百合が原公園、モエレ沼公園、川下公園、厚別公園、豊平公園、平岡公園、平岡樹芸センター、農試公園、手稲稲積公園、前田森林公園、明日風公園、山口緑地、旭山記念公園、札幌市豊平川さけ科学館、月寒公園、清田公園

(2) 収入金額

15, 946, 161円

4 その他

(1) 有料運動施設、貸しボート等の管理運営（管理許可）

(2) 浴室施設でのマッサージ器の導入・設置

評議員会及び理事会の開催等

(以下は全て承認・議決された)

評議員会

定時評議員会(平成26年6月20日開催)

議 題 報告事項

平成25年度事業報告の件
公園視察の件

決議事項

平成25年度決算承認の件
評議員選任の件
理事選任の件

みなし決議(平成26年6月20日付)

監事選任の件

みなし決議(平成26年9月10日付)

公益事業において繰り越した剰余金の取扱いの件

みなし決議(平成27年3月25日付)

理事選任の件
評議員選任の件

理事会

平成26年度第1回理事会(平成26年5月29日開催)

議 題 報告事項

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
決議事項

平成25年度事業報告承認の件
平成25年度決算承認の件
定時評議員会の招集及び提出議案の件

その他

公園の視察について

みなし決議(平成26年6月6日付)

定時評議員会への提出議案追加の件

みなし決議(平成26年6月20日付)

監事選任に係る評議員に対する提案書の件

みなし決議(平成26年8月27日付)

公益事業において繰り越した剰余金の取扱いの件

みなし決議(平成26年12月18日付)

給与規則の一部改正の件

平成26年度第2回理事会(平成27年1月29日開催)

議 題 報告事項

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
決議事項

変更認定申請の承認の件
平成27年度事業計画書及び収支予算書の承認の件

みなし決議(平成27年3月23日付)

理事候補者選任の件
評議員候補者選任の件
評議員会提出議案の件
給与規則一部改正の件